

# 越前市議会だより

— みんなでつくる 幸せな未来 —

題字は、武生高校 上田沙弥さんの書道作品です。

第83号

令和 8 年 (2026 年) 2 月 13 日 (金)  
編集・発行：越前市議会

越前市議会 検索

または、  
こちらをご覧ください。⇒



令和 7 年度  
市民と議会との語る会



# を開催しました

※地区ごとの報告書は、市議会ホームページに掲載しています。



市民に開かれた議会を目指して、市政の課題について市民の皆さんと自由に情報や意見を交換し、議会活動に生かすことを目的として、「市民と議会との語る会」を開催しています。



## 大虫地区

- ・議員の顔が見えない。住民の声を聴く機会を増やしてほしい。
- ・「越前鳥の子紙」がユネスコ無形文化遺産に登録されたが、越前打刃物や越前筆筒にも力を入れてほしい。
- ・除雪や雪捨て場に困っている。
- ・区長業務や民生委員の仕事が大変である。
- ・議員報酬が人口規模の同等な市と比べて低い。

## 吉野地区

- ・市民税に地域協力費などを徴収し、地域活動関係の費用に充当する施策をとってはどうか。
- ・福祉推進員や民生委員の処遇改善に取り組んでほしい。
- ・語る会での議会報告は、説明要旨でよい。もっと議論する場を多くしてほしい。
- ・北陸新幹線越前たけふ駅とハピラインふくい武生駅を結ぶ公共交通機関が必要である。

## 白山地区

- ・少子化における少人数教育への市の考えは。
- ・有機農業を含め、中山間地の農業を支援してほしい。
- ・白山地区では特に高齢者の割合が高く、移動手段に困っている。
- ・後期高齢者対策に不安がある。

## 服間地区

- ・デマンド交通の普及度合いと課題はどうか。
- ・平成16年7月福井豪雨災害による河川改修の進捗状況はどうか。
- ・クマ対策として徒歩通学区域にもスクールバス導入の検討をしてほしい。
- ・自転車活用推進計画にサイクリングロードの整備を望む。



ました。今後とも、広報広聴活動をより一層強化し、「議会活動の見える化」に取り組んでいきます。委員会などで行政に意見し、改善を求めるとともに、今後の議会活動の中で生かしていきます。

# 「市民と議会との語る会」

10月から11月にかけて市内9地区で開催し、9月定例会の審議の報告および市政に対する意見交換を行いました。各地区で出された意見等を紹介します。

## 南地区

- ・ハピラインふくい線のしきぶ駅に駐車場設置の計画はあるのか。
- ・小学校プールへの太陽光発電設置計画に地元の意見は反映されるのか。
- ・児童センターの空調設備を検討してほしい。
- ・空き地や空き家に困っている。

## 東地区

- ・高齢社会では区長や民生委員の成り手がいない。市の対応は。
- ・自転車活用推進計画に「車道に自転車専用レーンを確保すること」を盛り込むことは可能か。
- ・市中心部にドーナツ化現象が進んでいる。市の対策は。
- ・中心市街地の活性化はどうなっているのか。



## 北新庄地区

- ・小学校プールへの太陽光発電設置の費用対効果と廃棄費用をどう考えているのか。
- ・高齢者への医療政策は手厚い。若者にも支援をしてほしい。
- ・集落での役職が多い。地域自治振興事業で業務が増えている。
- ・デマンド交通は高齢者にとって手続きが負担である。

## 王子保地区

- ・学校の適正配置の議論はどうするのか。
- ・物価高対策として買い物券の発行を検討してほしい。
- ・自転車活用推進計画において、サイクリングロードの整備を望む。
- ・北陸新幹線越前たけふ駅の駐車場が空いていないのは問題である。

## 岡本地区

- ・北陸新幹線越前たけふ駅周辺整備事業に地場産業関連の計画はないのか。
- ・市の伝統産業「越前和紙」「越前打刃物」「越前筆筥」に伝統文化大使を任命してはどうか。
- ・実効性のある鳥獣被害対策の検討を。イノシシやシカの他に中型動物の対策もしてほしい。
- ・市の文化県都推進の計画は具体像が見えない。

**市民参加を推進する議会を目指します**

議員との意見交換の機会を求める声をいただき語る会でのご意見、ご要望は、一般質問や各委

# 12月定例会で話し合ったこと

令和7年越前市議会 12月定例会が、11月25日から12月18日までの24日間にわたって開かれました。  
この定例会では、補正予算案8件、条例案6件、一般議案4件を可決し、人事案3件に同意しました。

## 議会の深掘り



12月定例会で検討した議案を詳しくお伝えします

### 今回の深掘り議案は

## 議案60号 令和7年度越前市一般会計補正予算(第5号)のうち インクルーシブな全天候型の遊び場

### 議案の概要

既存の民間施設を活用し、天候に左右されずに、安心して遊ぶことができる、「こどもの遊び場」を設置します。民間事業者からの提案により、障がいの有無や文化の違いなどに捉われることなく、全ての子どもたちが、一緒に遊び、学び、つながる、インクルーシブな遊び場を目指します。

- 1 コンセプト「こどもの幸せとまちを育む全天候型キッズパーク」
  - ・障がいのあるこどもも、異なる文化のこどもも、全てのこどもと一緒に遊べる、学べる、つながる、インクルーシブな遊び場
  - ・伝統工芸とものづくりのまち越前市を実感・体感できる遊び場
  - ・先端技術を活用した、未来志向の遊び場
  - ・世代間・地域間交流ができる遊び場
- 2 設置事業者 越前市こどもの遊び場遊具整備事業体(2社の共同事業体)
- 3 提案内容
  - ・設置場所 武生楽市(越前市横市町)
  - ・遊び場の面積 400㎡ ・供用開始 令和8年7月中旬頃(予定)
- 4 総事業費1億円(継続費)
  - ・令和7年度: 20,000千円(設計、準備工事等)
  - ・令和8年度: 80,000千円(遊具製作・設置、工事等)

### 本会議での質疑

運営主体はどこか。稼働日数、職員の配置計画、安全管理や管理運営費はどうするのか。

事業主体は市だが、公募型プロポーザルにおいて、遊び場の設計、施工、管理運営について、一括した提案を求めている、決定した事業者が管理運営を委託することになる。

稼働日数は、土・日曜日を含め、週5日以上オープンすることを規定しており、今後この要件を踏まえて、事業者と協議していく。

職員配置や安全管理については、専任の職員配置、監視カメラの活用などの提案を受けており、今後、事業者と詳細の協議を行っていく。

管理運営費については、てんぐちゃん広場を参考に、1平方メートルあたり月額三千三百円を目安に提案を受けている。

てんぐちゃん広場のグレードアップではなく、新たな遊び場を整備する理由は。

てんぐちゃん広場は、武生中央公園のだるまちゃん広場と合わせて、かさとし先生の絵本の世界感、遊びの世界感を表現・体感する屋内の遊び場である。今回、市で検討した結果、夏の猛暑日や、冬の降雪時などの混雑を和らげ、こ

もの遊び場の選択肢を増やすという観点から、県の子どもの遊び場整備事業補助金を活用し、既存の施設と差別化を図った新たな遊び場をつくることとした。

駐車場の確保も重要だが、事業費に駐車場費用は含まれているのか。  
事業費に駐車場関連の費用は含まれていない。事業者からは、武生楽市全体の駐車場約六百台のうち五十台以上を確保し、費用については、共益費の中に含むとの提案を受けている。



▲遊び場イメージ図

# 令和7年12月定例会 本会議 議決結果

## 全会一致の議案等

議案	件名	議決の結果
議案第60号	令和7年度越前市一般会計補正予算(第5号)	可決
議案第61号	令和7年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第62号	令和7年度越前市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第63号	令和7年度越前市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第64号	令和7年度越前市水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第65号	令和7年度越前市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第66号	令和7年度越前市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第67号	越前市自転車置き場設置及び管理条例の一部改正について	可決
議案第68号	越前市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
議案第69号	越前市子ども・子育て支援に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第70号	越前市下水道条例及び越前市水道事業給水条例の一部改正について	可決
議案第71号	損害の賠償について	可決
議案第72号	越前市児童館の指定管理者の指定について	可決
議案第73号	越前市越前和紙の里紙の文化博物館、越前市越前和紙の里卯立の工芸館、越前市越前和紙の里体験工房「パピルス館」及び越前市越前和紙の里コミュニティ広場の指定管理者の指定について	可決
議案第74号	越前市ハツ杉森林学習センターの指定管理者の指定について	可決
議案第75号	越前市議会委員会条例の一部改正について	可決
議案第76号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第77号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第78号	監査委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第79号	令和7年度越前市一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第80号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決

### お詫びと訂正

11月14日発行第82号議会だよりの内容に誤りがありましたので、お詫びし、訂正いたします。

3頁 賛成・反対の双方があった議案等の表 (誤) 会派 郷働に川崎 俊之 議員 誠和会に川崎 悟司 議員  
(正) 会派 郷働に川崎 悟司 議員 誠和会に川崎 俊之 議員

7頁 佐々木 哲夫 議員 一般質問の1つ目のQの文中 (誤) 脱酸素対策に取り組んでほしい。  
(正) 脱炭素対策に取り組んでほしい。

## 12月定例会

代

表

質

問

代表質問は、当初予算の編成を前に、各会派の政策提言や意見が反映できるよう、12月定例会で実施しています。今回は5つの会派の代表議員が質問を行いました。

質問項目の中から、質問・答弁を要約し、掲載しました。

二次元コードを読み取ると、各議員の録画映像をご覧いただけます。

市民ネットワーク  
砂田 竜一議員



会派 郷働  
川崎 悟司議員



会派 未来  
題佛 臣一議員



誠和会  
川崎 俊之議員



地域共生  
橋本 弥登志議員



※代表質問を行った順に掲載

## 会派 郷働

かわさき さとし  
川崎 悟司 議員



### 空き家対策

**Q** 空き家問題は、市だけでなく、国が主体となり県も含め取り組む必要があると考えるがどうか。

**A** 国では、空き家対策の強化を図るため、市町村の権限強化や、相続空き家に係る譲渡所得の優遇措置などの法改正を行っている。更に、国と県が主体となって市町と連携できるような体制の強化や新たな支援制度の創設を強く働きかけていく。

### ※1 中学校の部活動の地域展開

**Q** 進捗状況を踏まえ、今後の進め方は。

**A** 令和5年度から国の採択を受け、3年間取り組んできた。関係者の理解のもと、大きな枠組みでの体制は整いつつある。令和7年10月から、全ての土曜日・祝日の部活動について、地域クラブ活動に展開している。12月には、国から示されるガイドラインを踏まえ、方向性を整える予定である。

### その他の質問

- 財政計画
- 自治組織のあり方
- 農林業
- 福祉政策
- 下水道使用料
- 教育行政

## 市民ネットワーク

すなだ りゅういち  
砂田 竜一 議員



### 越前たけふ駅周辺の開発ビジョン

**Q** 今後の開発ビジョンは。

**A** 福井村田製作所に続く高度な技術拠点の誘致、「アート＆クラフトミュージアム」整備の働きかけ、食と農の人材育成拠点の整備、温浴・飲食施設の立地など、今後10年を見据え、企業の研究開発拠点や人材育成拠点を集積し、多彩で創造的なエリアとして発展させたい。

### 市民の幸せ実感のふるさとづくり

**Q** 山田市長の今後の抱負は。

**A** 越前たけふ駅周辺の創造拠点化、歴史と文化の推進、子育て・教育日本一、脱炭素・オーガニックシティ、行財政システム改革など、「生まれてよかった、住んでよかった、帰ってきてよかった」と思えるまちを市民の皆さんと共に築いていきたい。

### その他の質問

- 子育て支援の充実による少子化対策
- 公共施設の老朽化と持続可能な管理運営
- 公共交通網の再構築
- 地域ブランドの推進による地域活性化
- 持続可能な農業政策
- インクルーシブ教育の推進

## 用語の解説

### ※1 部活動の地域展開（地域クラブ活動）

少子化が進む中、子どもたちが地域でスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保していくため、中学校での休日の部活動を地域クラブへ移行する取り組みが進められている。今後、平日の部活動についても地域展開に取り組んでいく。

## 地域共生

はしもと や とし  
橋本弥登志 議員



### 市長 2 期目の取り組み

**Q** 山田市長の今後の取り組みは。

**A** 越前たけふ駅周辺の創造拠点、街中でのまちづくり、少子化ストップ、100 年人生の実現、未来につながるインフラ整備、行財政システム改革のステージアップ等に注力する。

### 越前たけふ駅パークアンドライド駐車場

**Q** 越前たけふ駅駐車場の有料化の時期と割引の対象者は。

**A** 有料化の時期は、令和 8 年内での実施を考えている。無料化や割引は、新幹線や高速バスの利用者、道の駅の利用者を想定している。

### 児童館の空調

**Q** よりよい児童館運営に向けて、市の所見は。

**A** 児童福祉施設等個別施設計画を年度内に作成し、計画的に設置・更新などを行う。

### その他の質問

- 国土強靱化計画
- 空家等対策計画
- 地域福祉計画
- 環境調和型農業
- 鳥獣害対策
- 環境政策
- 学校給食の無償化
- 教職員の長時間労働
- スポーツ少年団指導者の育成
- 公民館のあり方
- 職員体制の充実等

## 誠和会

かわ さき とし ゆき  
川崎俊之 議員



### 職員の政策提案・実現に向けて

**Q** 若手職員のスキルアップやモチベーションアップのために、政策提案から事業化に結び付ける制度を取り入れるべき。

**A** 職員自ら課題を発見し、改善策や新しい提案を行い、それが事業化につながる仕組みは大事だと考えている。若手職員をはじめ、職員がやりがいを持って生き生きと挑戦できる実効性のある仕組みを所属する組織の内外において作れないか、考えていきたい。

### 教員不足の対応

**Q** 教員志願者を増やすための将来の構想は。

**A** 教員の志願者を増やすためには、働きやすさと働きがいの両立を目指していくことが重要。県費教職員については、県への重要要望で対応している。国に対しては、全国都市教育長協議会や、全国市町村教育委員連合会と一緒に、教職員の確保の要望を現在行っている。

### その他の質問

- 予防・健康増進
- ゴミ屋敷問題解消に向けた取り組み
- 人口減少問題
- 小中学校の「適正配置」

## 会派 未来

たい ぶつ しん いち  
題佛臣一 議員



### 自治振興会が抱える課題への市の考えは

**Q** 20 年以上も続く自治振興制度を検証するには、有識者や自治振興会の経験者、あるいは自治振興会の役員も加えて、社会教育や公民館、地域づくりに熟知した専門家の助言が必要と考えるが。

**A** 少子高齢化や定年延長など社会情勢の変化により、担い手不足が課題となっており、事業の負担軽減とあわせ、持続可能な事業運営の仕組み作りが必要である。

### 新しい文化財保護施設の設置

**Q** 新しい文化財保護施設を整備することは、保存環境の改善だけでなく、観光・教育・地域振興を同時に進めるために有効と考えるが。

**A** 「市文化財保存活用地域計画<sup>※2</sup>」に基づいて、保護と活用を進めている段階。これまで県関連の施設の活用も含めて、具体的に検討してきたが、現段階では開設に達していない。今後も引き続き、官民既存施設の有効活用を図りながら検討していきたい。

### その他の質問

- 越前たけふ未来創造基地の進捗状況
- 「中心市街地活性化プラン」の成果と課題
- 空き家対策
- 市障がい福祉計画

## 用語の解説

### ※2 市文化財保存活用地域計画

少子高齢化の進行による文化財の散逸や衰退を防ぐため、地域社会全体で文化財を継承できるよう、文化財の保存・活用を目指す法定計画。保存・活用を通じて、まちづくりや観光振興にもつなげていく。計画期間は、令和 5 年度から 14 年度までの 10 年間。

会派 郷働

こ だま しゅん いち

小玉俊一 議員



### 空き家・防災・消雪

**Q** 相続関係が複雑で、長年放置された危険空き家への取組状況は。

**A** 倒壊の恐れがある危険空き家については、行政代執行を検討している。また、所有者が空き家などを地域の集会場など、地域コミュニティの場として無償で提供する場合は、固定資産税が全額の免除対象となる。

**Q** 市道路無雪化事業整備計画の令和7年度末の整備率は。

**A** 令和6年3月に策定した当計画では、全体計画で8路線、延長10.16キロメートルである。令和7年度末には、約8.7キロメートルが完成し、整備率は約85%となる見込み。

また、県事業である武生美山線の令和7年度の進捗状況は、北町交差点から東方面へ延長約200メートルの整備が完了し、引き続き年度末に向けて東方面へさらに190メートル整備する予定である。



市民ネットワーク

もり もと よし ゆき

森本辰之 議員



### 重度障がい者への支援強化

**Q** 重度の支援を要する方と家族がハッピーになるための市長の思いは。

**A** 障がいのある方やご家族の意思をしっかりと聞き、その思いに応える社会を作っていく。

**Q** 支援を要する子どもや保護者が抱える葛藤や心理的孤立を市長はどう受け止めているのか。

**A** 重く受け止めている。心が和らぐような支援を進めることは、本市にとっても重要な施策である。保護者の孤立を防ぎ、リフレッシュできる機会の提供が大切だと思っている。

**Q** 支援を要する方が18歳を過ぎた後、家族の負担がどんどん増加している。子どものケアと親の就労の両立をどう考えているか。

**A** 学校卒業後に利用できる生活介護の受け皿が十分でない。保護者が働きたくても働けないという状況は家族の経済的な安定や社会的孤立を深める大きな課題だと考える。

#### その他の質問

- 聴覚に障がいのある児童・生徒への支援
- 難聴への理解と高齢化への備え
- 命を守る防災スカーフ



## 12月定例会



今定例会では、13人の議員が12月4日から8日までの3日間、一般質問を行いました。

質問項目の中から質問・答弁を要約し、掲載しました。

二次元コードを読み取ると、各議員の録画映像をご覧いただけます。

森本 辰之 議員	8
小玉 俊一 議員	8
松本 照美 議員	9
能勢淳一郎 議員	9
佐々木哲夫 議員	9
近藤 光広 議員	10
畑 勝浩 議員	10
土田 信義 議員	10
安立 里美 議員	11
小形 善信 議員	11
清水 一徳 議員	11
桶谷 耕一 議員	12
前田 修治 議員	12

※一般質問を行った順に掲載

### 用語の解説

#### ※1 市道路無雪化事業整備計画

本計画は平成30年に改定し、消雪ネットワークを形成するための整備を進めている。前期計画では東西アクセス道路で重点的に整備し、後期計画では主要南北路線での整備を進めている。併せて、地下水水位への影響が懸念されることから、地下水状況を調査し、今後の消雪施設整備のあり方についても検討している。

特集

12月定例会  
トピックス

12月定例会  
議決結果

12月定例会  
代表・一般質問

12月定例会  
委員会審査

12月・1月臨時会

一志会

さ さ き て つ お  
佐々木哲夫 議員



### 公共施設の管理

**Q** 横市町の武生楽市内に設置予定の子ども広場の設計や運営に、てんぐちゃん広場のように、子育て組織などが参画できないか。

**A** 設計や運営について、プロポーザルで選定された業者と共に、地域の子育て組織や団体も参画できるよう、対応していきたい。

**Q** 指定管理選定委員の選任において、施設を知っている方で、経営感覚などをお持ちの方を選任すべきでは。

**A** 選定委員については、施設ごとに専門性を持つ個別委員の選任も可能であるが、ご指摘の通り、従来の選任方法となっている。今後は、委員の選任の仕方、選定の視点、施設ごとに運用のあり方を提案するなど、検討していく必要がある。



▲ てんぐちゃん広場

#### その他の質問

○広域行政



会派 創至

の せ じ め ん い ち ろ う  
能勢淳一郎 議員



### 地域包括ケアシステム

**Q** 本市の「訪問診療医」と「看取り医」の現状は。

**A** 住み慣れた自宅で療養や看取りを希望するニーズは増えており、地域包括ケアシステムの中核として在宅医療が重視されている。現在、訪問診療に対応している医療機関は9機関、訪問看護ステーションは15事業所あり、24時間対応やターミナルケアを担う体制となっている。

**Q** 「人生会議」、「エンディングノート」とは。

**A** 「人生会議」は、看取りも含め自分が望む医療やケアについて考え、家族や医療・ケアチーム等と話し合い、本人の希望を共有する取り組み。「エンディングノート」は、本人や家族が望む医療や介護を受けられるよう意思決定する際の支援ツール。

これら活用することで、自分らしい最期を過ごすことができ、本人や家族にとっても心残りのない看取りができると考えられている。

#### その他の質問

○動物愛護



会派 未来

まつ も と て る み  
松本照美 議員



### 地域における女性活躍

**Q** 地域では女性の参画が少ない。どのような働きかけをしているのか。

**A** 男性の家事・育児参画を応援する講座や、世代間交流による意識の変化を促す取り組みなど、地域での対話や学びの場をさらに広げながら固定的な性別役割分担意識の解消に取り組んでいる。

**Q** 具体的な施策は。

**A** 地域での女性参画推進・固定的な性別役割分担意識の見直し・働き方改革によるワークライフバランスの確立を重点とした施策について、企業や地域に向けて出前講座や啓発イベントを実施している。

**Q** 周知の方法は。

**A** 市男女共同参画センター<sup>※2</sup>のインスタグラムで情報発信している。また、「市輝く女性活躍応援団」に賛同する事業所には、セミナーや講座の情報を案内している。

#### その他の質問

○家庭教育支援事業

○市民活動

○女性防災士



### 用語の解説

#### ※2 市男女共同参画センター

女性と男性がお互いに支え合い、喜びも責任も分かち合い、社会のいろいろな分野で、生き生きと活躍することができる「男女共同参画社会」をつくるための活動の拠点。「女性と男性」、「市民と行政」が共に考え、協力し、一人ひとりの個性と能力が発揮できる社会づくりを様々な面からサポートしている。

## 市民ネットワーク

つち だ のぶ よし  
土田信義 議員

## 地方分権、課題を問う

**Q** 国から県へ、県から市へ。地方の自主性・自立性を高めるため、地方分権改革が進められた。市町村合併等、効率化を図ってきたが、財源が乏しい。少ない職員で仕事をこなす余裕のない状況。①移譲財源は見合っているのか。②職員の早期退職に影響していないのか。③市民の幸福につながっているのか。④効率や専門性を高めるため、県や広域での取り組みがよい事業はあるのか。⑤国と地方の税配分への考えは。

**A** ①見合っているとは言い難い。②職員の負担も認識している。職員の健康と働きやすい環境を確保し、市民サービスの質を維持できるように改善を続けたい。③移譲事務すべてが市民の幸せにつながっているとは言い切れない。④有害鳥獣対策など県主導で対応いただけるとよい。⑤財源が問題。単に地方交付税の見直しばかりでなく、東京の税収を地方に振り分ける考えが必要。私(市長)も、努める。

## その他の質問

- 農林水産地方創生センター
- 空き家等対策
- 地場産有機給食の拡大



## 諸派 (ふくいの党)

はた かつ ひろ  
畑 勝浩 議員

## 観光施策の検証

**Q** 和紙バレエ構想創造事業が進んでいるが、市民との関わりが薄いと感じる。民泊制度を住民に広く説明し、補助金等を充実させ、地域住民の参画を促し、空き部屋・空き家の利活用にもつなげ、市民が参加できる事業にしたらどうか。

**A** 民泊制度を周知し、導入を促していきたい。飲食施設の誘致も含め、意見交換の場で話し合い、事業に関わる人が増えるよう働きかけていきたい。

**Q** 越前和紙の研究のために、海外から産地を訪れ、市民とさまざまな取り組みを行っている人がいる。その方々に宣伝、販路拡大への協力を求めることで、効率よく、費用も抑えた施策が行えるのではないか。

**A** 海外からの来訪者の自国での需要拡大につながるよう、外国の方、関係する市民の方々と共に、継続的な関係を築き、販路拡大を図っていきたい。

## その他の質問

- 市長の所信表明から
- 鳥獣害対策の進展具合



## 地域共生

こん どう みつ ひろ  
近藤光広 議員

## 文化都市・ユネスコ登録

**Q** ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟認定、ユネスコ無形文化遺産での「越前鳥の子紙」の追加登録による、今後の効果は。

**A** 本市を世界に発信する大きな機会となり、経済の好循環や伝統産業の高付加価値化が期待できる。また、次世代を担う人材の育成にもつながり、さらに世界408の加盟都市との交流の機会を得られる。

**Q** 令和8年にユネスコ無形文化遺産への申請予定の「書道」を好機と捉え、多くの先陣を輩出している本市を「書のまち」にしてはとの私からの提案に対するその後の状況は。

**A** 市総合計画の「地域の宝をブランドに」の中で、書を地域の宝として位置づけ、市民が主役となって書によるまちづくりを行っていく。具体的には、石川九楊先生や関係者の意見のもと、「現代の寺子屋」や越前和紙による書道用紙の開発を考えている。

## その他の質問

- これからのまちづくり(中心市街地・ひとづくり等)



## 用語の解説

## ※3 越前鳥の子紙

今立五箇地区に伝承されている雁皮のみを原料にした手漉きの紙。平成29年に国の重要文化財に指定。紙肌は、光沢に優れ滑らかで硬質な質感がある。鳥の子とは、紙の色が卵殻の色に似ていることに由来すると言われる。厚手の襖紙から極薄の紙まで、多様な鳥の子紙を漉く技術が伝承されている。



## 山田越前市政の戦略項目

**Q** 「越前鳥の子紙」がユネスコ無形文化遺産に追加登録されるが、継承成長していく為にも、県の積極的なバックアップ体制を要望する。

**A** 「越前鳥の子紙」のユネスコ登録は、本市にとって歴史文化を世界に発信する大きな契機であり、同時にその技術を未来へ確実に継承していく責任を持つ。県に対しては、原材料の供給体制に加え、本市で令和14年に開催される全国無形文化財保持団体協議会大会に対し、積極的なバックアップを要望していく。

**Q** 小中一貫教育の導入を検討する意図は。

**A** 地域の実情等を踏まえ、小中学校の適正配置等について、議論が必要。「小中一貫教育」についても、子どもたちにとって望ましい最適な教育環境について検討する上で、それが解決策になるような地域においては、選択肢の一つになると考えている。



## 山田市政の行財政改革

**Q** 市長は「行財政システム改革のステージアップ」の中で、「健全財政で持続可能な自治体経営」を目標とし、地方債残高を減少させ、将来負担比率も対前年比で18.3%を減少させた。しかしながら、市民生活に必要な公共的事業の推進も必要である。借金返済と投資的経費のバランスをどのように考えるのか。

**A** 市の借金を85億円減少させ、今年度末に約400億円と減少させてきたが、いまだ厳しい。一方で、大規模災害への対応など社会的要請の高い事業は行っていく必要がある。財政指標の改善を念頭に市債の新規借入額を適切にコントロールし、特に交付税措置率の高い地方債を優先して活用するなど、投資的経費を過度に抑制することなく、同時に実質的な財政負担もできる限り減らせるよう努めていく。



### その他の質問

○市民のウェルビーイング



## 職員の退職後の再就職問題

**Q** 市は条例で公益法人への職員派遣を認めているが、どのような団体が対象で、これらの団体へ再就職したのは何人か。

**A** 市と連携して業務を進める公的な法人で、市文化振興・施設管理事業団や市社会福祉協議会など7団体であり、直近5年間で6人が再就職した。

**Q** それらの団体に再就職した職員、が問題を起こした事例はあるか。

**A** 市として問題視すべき行動が発生した事例は確認していない。

**Q** 職員の再就職は、市にとっても対象となる団体にとってもメリットになると思われるが、市としての考えは。

**A** 職員の再就職により、市と団体との連携強化や意思疎通の迅速化が可能となる。職員の行政経験が生かされることで、団体の実務支援、市のチェック機能強化等も図られ、市民サービスの維持・向上につながる。

### その他の質問

- 今度の地域公共交通のあり方
- 武生中央公園の施設の現状と今後
- 越前市における指定管理



## 用語の解説

### ※4 将来負担比率

地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その団体の財政規模に対する割合で表したものの。将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標とも言える。本市では、令和5年度の128%をピークに、6年度は110%となり、その後も緩やかに減少していく見込み。

## 副議長就任

11月25日の12月議会本会議で、副議長の辞職が許可されました。これに伴い、副議長選挙が行われ、大久保恵子議員が副議長に当選されました。



おおくぼ けいこ  
**大久保 恵子**

会派：市民ネットワーク  
当選回数：6回

## 表彰

総務大臣感謝状

まえだ しゅうじ  
**前田 修治** 議員

35年以上の永きにわたり、市議会議員として地方自治の振興発展に寄与し、住民福祉の向上に尽くした功績に対して感謝状が贈呈されました。本議会では2人目となります。



諸派（日本共産党）

まえだ しゅうじ  
**前田修治** 議員



## 国民健康保険税の改定

**Q** 令和8年度、国民健康保険税が改定されるが、前回の改定では、資産割が廃止され、物価高騰による市民生活への影響を考慮して、その他の税率・税額は据え置かれた。新年度においては、国民健康保険税の引き下げを求めたい。

**A** 物価高騰が市民生活に大きな影響を及ぼしていることは認識している。改定の検討にあたっては、国・県の交付金や基金等を活用し、市民負担の軽減も含め検討する。

**Q** 子どもの均等割額は新年度から国の制度で半額にされるようだが、市独自の制度として全額免除とするべきではないか。

**A** 収入のない子どもにまで保険税を課すことは制度的な課題だと認識している。国に対し、財源確保や制度の拡充を要望していくが、市独自の減免制度は実施すべきでないと思う。

### その他の質問

- ウォーター PPP の導入
- 学校給食費の保護者負担部分への助成



諸派（公明党）

おけ たに こう いち  
**桶谷耕一** 議員



## 重層的支援体制整備事業の推進

**Q** 重層的支援体制整備事業が法制化されたのは、地域や家族など共同体が弱体化していく中で、生活課題を抱えながらも相談する相手が見つからなかったり、制度の谷間で孤立したりする人が増えたためである。市は、地域がどのようなことを目指して始めたのか。

**A** 重層的支援体制整備事業の目的は、地域福祉計画<sup>※2</sup>の目的である「地域共生社会」を構築することである。地域において、住民同士がお互いに人格と個性を尊重し合い、一人ひとりが望む方法で地域や社会に参加し、誰もが安心して暮らすことができる「共生社会」の実現を目指している。



### その他の質問

- こども家庭センター



## 用語の解説

### ※5 市地域福祉計画

本計画は、本市の高齢者、障がい、子ども・子育て等に関する個別計画の上位計画として位置づけられ、個別計画とともに地域福祉の理念を共有している。特に、地域共生社会を実現するために、包括的な支援体制の整備が必要であり、具体的手法として重層的支援体制の整備を盛り込んでいる。



# 委員会で詳しく審査

## 教育厚生委員会

### 全天候型のこどもの遊び場 インクルーシブとは

**Q** 新しく設置される全天候型のこどもの遊び場と、てんぐちゃん広場における、インクルーシブの考え方は。

**A** インクルーシブの視点は、障害のあるこどもも、国籍・文化の違うこどもも、全てのこどもが同じように遊べるというものであり、新たな遊び場もてんぐちゃん広場もインクルーシブの視点は、同様である。新たな遊び場には、てんぐちゃん広場にはない、インクルーシブ遊具の配置を予定している。

**Q** 異なる文化などをコンセプトにしているインクルーシブな遊び場をイメージしにくい。今後の提案を示すことを考えているのか。

**A** 市のホームページに、遊び場のイメージ図を掲載し、市民の自由な意見も募集し、設計に反映させていきたい。

**Q** 年間の必要経費は。

**A** てんぐちゃん広場の例を参考に積算を行い、人件費や賃借料などで、1,500万円程度を見込んでいます。



▲遊び場イメージ図

#### 委員会で審査した議案

- ・越前市子ども・子育て支援に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・越前市児童館の指定管理者の指定について

その他予算案5件

## 産業建設委員会

### しらやま西瓜に対する補助の充実を

**Q** しらやま西瓜の年間の生産量と販売額、生産者の人数は。

**A** 令和6年度の生産量は77トン、販売額は1,945万2千円であった。

生産者数は、令和6年度は28人であり、今年に入り1人増加し、29人となった。

#### 委員からの要望

現状の販売額や生産者数を鑑みると、しらやま西瓜の選果場の設備更新費用は、生産者にとって負担が大きい。設備投資に対する生産者の負担を軽減し、意欲的にしらやま西瓜の生産に取り組めるよう県と市の補助の充実を要望・検討してほしい。



#### 委員会で審査した議案

- ・越前市下水道条例及び越前市水道事業給水条例の一部改正について
- ・越前市越前和紙の里紙の文化博物館、越前市越前和紙の里卯立の芸芸館、越前市越前和紙の里体験工房「パピルス館」及び越前市越前和紙の里コミュニティ広場の指定管理者の指定について
- ・越前市八ツ杉森林学習センターの指定管理者の指定について

その他予算案4件



▲しらやま西瓜選果場

特集

12月定例会  
トピックス

12月定例会  
議決結果

12月定例会  
代表・一般質問

12月定例会  
委員会審査

12月・1月臨時会

# クローズアップ徹底検証

## 総務委員会

しきぶ駅の自転車置き場を利用できる車両は

**Q** ハピラインふくい「しきぶ駅」の自転車置き場を利用できる車両に、原動機付自転車を加える理由は。

**A** しきぶ駅の自転車置き場については、短時間駐車場のみの整備予定のため、遠方からの利用者も想定し、自転車置き場を利用できる車両に原動機付自転車を追加した。



### 委員会で審査した議案

- ・越前市自転車置き場設置及び管理条例の一部改正について
- ・越前市職員の給与に関する条例等の一部改正について
- ・損害の賠償について

その他予算案 2 件

## 議会活性化 特別委員会

委員会のネット配信について、配信する委員会、発言を修正する方法、不穏当発言への対処を議論しました。会議を配信する際の運営上の注意点、対応を明文化するなど、適切な映像を配信していくための準備を整えていきます。

また、市議会における服装自由化の取り組みについて、地球温暖化対策としてのエコスタイル実施と共に、市職員が既に服装の自由化を実施しているように、議会の自由闊達な議論風土を醸成することも確認しました。議員としての品位を保つための注意点を整理すると共に、議員間協議での議論を深め、実施方法や実施時期の検討を進めます。

さらに、議員の政策提案につながるような政策研究活動について、先進事例の取り組みを参考に、調査を進めてきました。本委員会での協議の結果、議員政策研究会制度の創設を視野に、制度設計を含め所要の調整を図っていくことの合意が得られました。

今後、議員間協議により議論を深め、実施に向け検討を進めていきます。

## 公共交通対策 特別委員会

これまでの本委員会の活動を振り返り、デマンド交通や自家用有償旅客運送について、先進自治体の現地視察や、オンライン視察、運営主体である事務局との意見交換など、多岐にわたって調査、研究を深め、充実した取り組みができたことを確認しました。

その後、委員間討議を行い、今後取り組むべき方向性について、協議しました。

今後、高齢者や学生等の交通弱者が増加してくることを、また、運転免許証を返納せざるを得ない方々も増加してくることを踏まえて、現在、実証実験を行っている予約のりあいタクシー（デマンド交通）などに特化した形で、地域公共交通の充実を図っていくことは重要であることを確認しました。

## 社協理事会での発言に関する 調査結果について(報告)

昨年6月9日開催の市社会福祉協会の理事会で、本議会選出の理事であった近藤光広前副議長が、新たな理事選出に際し、越前市の前・担当部長が理事候補者に含まれていたことから、「天下り」であると発言し、精査を求めました。

これに対し、議員の影響力を不正に行使する働きかけではないかと、他の議員から指摘を受けました。

このことで、議会運営委員会が流会し、6月定例会最終日を議長の仕事整理権により開催するなど、本議会の混乱につながりました。

これを受け、本議会は調査会を設置し、12月18日に、調査結果を報告し、近藤前副議長からのコメントを受け、全議員で確認しました。

その概要は、次のとおりです。

・近藤前副議長の発言は、社協から、「議員としての権限や地位による影響力を不正に行使するような働きかけはなかった。」との回答を受け、そのことを確認した。

・「議員は、公人としての社会的立場や影響力を持つことから、その言動に責任を持ち、対処する必要があること。」を確認した。

# 12月臨時会の概要

## ■ 山田市長の退職申出（退職の期日）に同意

令和7年越前市議会12月臨時会が、12月18日に開かれました。

令和7年12月18日に、山田市長から議長に対し、12月26日をもって退職したい旨の申出書が提出されたことを受けて、同日の本会議で退職の期日に関し同意しました。これは、地方自治法第145条の規定により、法定期日前の市長の退職は、議会の同意が必要とされているため行われたものです。

### 令和7年12月臨時会 本会議 議決結果（全会一致）

件名	議決の結果
市長の退職申出に対する同意について	同意決定

# 1月臨時会の概要

令和8年越前市議会1月臨時会が、1月20日に開かれました。

この臨時会では、補正予算案1件、一般議案1件を可決し、専決承認案1件を承認しました。

### 令和8年1月臨時会 本会議 議決結果（全会一致）

議案	件名	議決の結果
議案第1号	令和7年度越前市一般会計補正予算（第8号）	可決
議案第2号	しきぶ温泉湯楽里の指定管理者の指定について	可決
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて	承認

## 教育厚生委員会

### しきぶ温泉湯楽里 次の指定を見据え検討を

**Q** 不調になった第1回目公募と、今回の公募での基準管理費の金額は。

また、基準管理費が大きな増額見直しとなった理由は。

**A** 第1回目公募では、1年間で2167万円、今回の公募では、1年間で5410万円に見直した。

増額の見直しとなった理由については、当初、収入額の見積を、直近10年間の平均額としていたが、特に宴会による利用がコロナ禍からまだ回復していないことから、収入額の見積を、直近3年間の平均額とした。

また、支出額については、湯楽里は多くの灯油を使用し、

燃料価格の高騰の影響を受けやすい施設であることから、灯油の基準単価を直近の単価に変更した、

**Q** 指定管理の期間を10年間から5年間に見直した理由は。

**A** 燃料価格等の高騰による運営コストの増加や、施設の老朽化に伴う大規模な設備の更新を控えており、長期的な予測が難しいため、標準期間の5年間とした。

#### 委員会からの要請

指定管理にこだわらず、業務委託も視野に入れ、次期指定となる5年間の方針について検討してほしい。



▲ しきぶ温泉湯楽里

#### 委員会で審査した議案

- しきぶ温泉湯楽里の指定管理者の指定について  
その他予算案1件



「地域の宝」を誇りに、  
市民参加型のまち  
づくりを目指して

議会モニター  
すぎもと なおこ  
**杉本 直子**さん  
(武生商工会議所)

越前市には伝統文化や産業、食など、誇るべき『地域の宝』が豊富にあると実感しています。これらの魅力を市が SNS 等で戦略的に発信することで、幅広い世代が地元の良さを再認識し、地域活動への参画が広がることを期待しています。私自身も、市の魅力を次世代や市外へ発信し、市民参加型のまちづくりに積極的に協力してまいります。

また、議会モニターを経験したことで、市議会のネット配信の存在を知りました。「議会中継」は、市民と市政をつなぐ大切な窓口です。一人でも多くの市民が議会に触れ、共にまちづくりを考える輪が広がることを願っています。

# みんなの声

日々の暮らしで思うこと  
まちづくりに期待することなど  
議会モニターさんの声を聴きました

共に成長し続ける  
越前市を目指して



議会モニター  
いのうえ てつお  
**井上 哲夫**さん  
(公社)越前市スポーツ協会)

議会の傍聴を何度か経験させていただき、議員の方々の取り組みや市の行政に対する考え方が少しずつ感じられるようになってきました。毎回いろいろな面から疑問を取り上げ、解決していく様子からは、日頃の取り組みをうかがい知ることができます。今後も、このような取り組みに磨きをかけていただけることを期待したいと思います。

私は、これからの未来のために、現在の市政にとどまるのではなく、古いシステムは見直し、市議会および行政が絶えず成長し、市民が主役の行政を構築すると共に、成長し続ける越前市を目指していただきたいと思います。

## 3月定例会の日程 2月18日(火)～3月19日(木)

詳しい日程はホームページをご覧ください。

議会中継は、こしの都ネットワークや、  
インターネット・スマートフォンでもご覧いただけます。



- ・こしの都ネットワークで議会放送を見るときは、092チャンネルです。
- ・インターネット・スマートフォンで見るときは、越前市議会のホームページの「インターネット議会中継」をクリックしてください。

↑  
チャンネル  
↓

議会放送を見るためにはリモコンのこのボタンで**092チャンネル**に合わせてください。

### 問合先

市議会事務局  
Tel (222) 3426

議会だより編集委員会  
委員長 佐々木 哲夫  
副委員長 砂田 竜一  
委員 能勢 淳一郎  
橋本 弥登志  
川崎 俊之  
安立 里美  
畑 勝浩  
小玉 俊一

今回、このような貴重な機会をいただいたことに感謝するとともに、八文字心を込めて書きました。故郷越前市の発展を願ひ、市民の皆さんが議会により関心を持つてもらえるように書き上げました。



題字揮毫  
武生高校2年  
うえだ さや  
**上田 沙弥**さん

題字揮毫者から  
メッセージ